

■清瀬二中の「野草」2

～1年理科 植物の世界～

4月に見つけた春の野草たちは、そろそろ花が終わり、かわりに実（果実）をつけ始めました。そこで、どんな実をつけたのかと観察をしました。小さい実をつける野草の実はルーペで拡大しながらデジタルカメラで撮影したのですが、あまり上手く写りませんでした。やはり自分の目でしっかり観察するのがベストのようです。

※ ルーペ：虫メガネのことです。使い方は教科書を見てください。

※ 果実：食べることが出来なくても「果実」と呼びます。

ナズナ

♡型（相撲の行司が持つ軍配型）



オオイヌノフグリ

ふくらとした♡型



カラスノエンドウ

「さやえんどう」のような形です



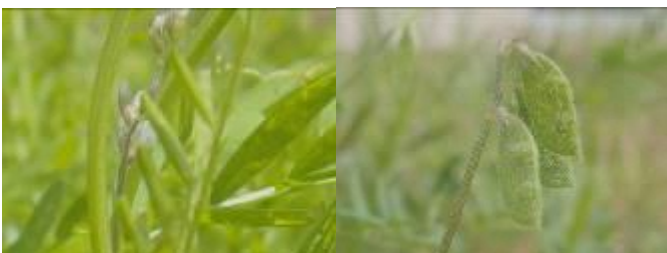
タチヌノフグリ

上向きに厚みのある♡方果実



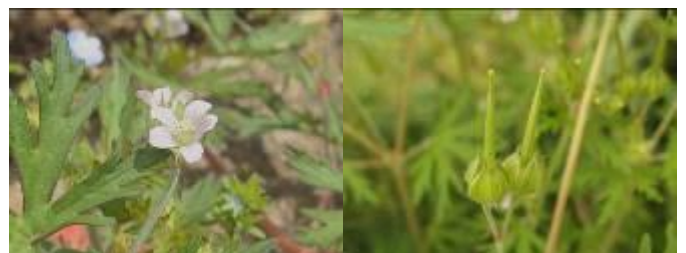
スズメノエンドウ

小ぶりで下向きに垂れています



アメリカフウロ

2つペアの塔のようです



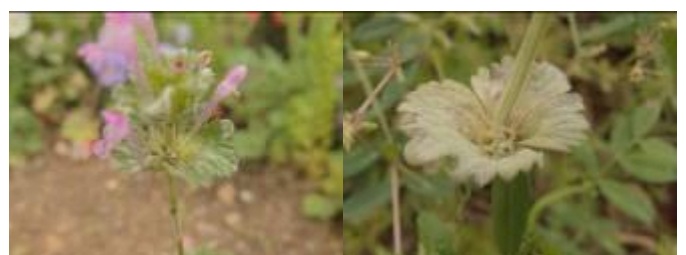
キュウリグサ

がく片の中に小さい種ができます



ホトケノザ

茎の両側に付いている葉の上面の根元に小さい種



オランダミミナグサ

花とあまり変化がない



イヌムギ

麦のような実です。イネ科は花が目立ちません。



■関連する授業の写真・動画はこちら

①大きくなあれ 大日本図書 デジタルコンテンツ（小学校教科書対応）

<https://www.dainippon-tosho.co.jp/yagi/>（写真いろいろな生物の成長図鑑です）

②《1年理科 単元1 植物の世界》

NHK Eテレ ミクロワールド「イネの花 実りのしくみ」

https://www.nhk.or.jp/rika/micro/?das_id=D0005100071_00000

①



②



タンポポ (たぶん雑種)

綿毛で飛んでいきます



ヒメジオン

小さい綿帽子



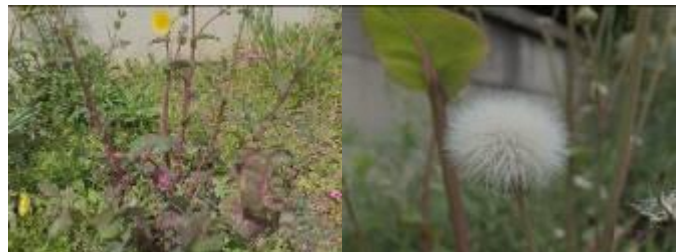
ノゲシ

タンポポのような綿帽子



オニノゲシ

タンポポのような綿帽子



カタバミ

上向きに五角柱の実



ヤエムグラ

トゲトゲの付いた丸い実



■綿帽子をつけるのは、タンポポだけではないようです。

タンポポの綿帽子を吹いて飛ばして遊んだことがあると思いますが、ハルジオンやノゲシ、オニタビラコなども小さいですが綿帽子をつけて、種を飛ばします。どれもタンポポと似た花をしていて、キク科の仲間です。しかしよく見ると、綿毛の付き方が少し違いますね、ルーベなどで拡大して観察をすると良く分かります。



タンポポ

ノゲシ

■関連する授業の動画はこちら
《1年理科 単元1 植物の世界》
NHK Eテレ クリップ

- ①「タンポポ 外来種と在来種」
- ②「いろいろなタンポポ」

①https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005403232_00000

②https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005401051_00000

①



②



イモカタバミには、実（果実）がない？

清二中には、カタバミの仲間でもピンク色をしたイモカタバミがたくさん生息しています。もともと観賞用に海外から持ち込まれて野生化した帰化植物です。カタバミは上の写真のように実をつけて、実が熟すと果実が裂けて中から種が飛び出します。しかし同じ仲間のイモカタバミは、いくら探しても実（果実）が見当たりません。下の写真のように花が終わるとそのままおれてしまいます。秋には葉も枯れてしまいますが、翌年の春にはまた満開になります。

さて、どうやって増えるのでしょうか？ 名前を漢字で書くと「芋片喰」となります。



花ちゃんと花粉も付けている

咲き終わった様子（実ができない）

■関連する授業の動画はこちら
《3年理科 単元2 生命の連続性》
NHK for school 理科クリップ
「有性生殖と無性生殖の違い」

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301493_00000

